

改善できる人づくりからスタートし、 99%受注生産を達成した 家具メーカーの取組み

～2万m²の活スペースを実現～ ナガノインテリア工業

「2万m²の活スペースを生み出した家具メーカーがある」と耳にし、訪れたのは、福岡県朝倉市の本社と工場を構える、ナガノインテリア工業。周囲は田畑や小高い山が広がる、緑豊かな町である。

「近くには、家具メーカーが集まる大川市があり、昔から家具産業が盛んな土地です。同社は創業以来、家具を通じて心が豊かになるライフスタイルの提案を目指してきました」

と語るのは、同社の2代目の代表取締役の永野勤十氏。職人の技が光る、質の良さから、県内外からの注文をコンスタントに受けている。

同社のような加工から出荷まで一貫して行う、家具メーカー自体貴重な存在だ。さらに改善活動に取り組むメーカーは数少ない。それではなぜ同社は改善活動に挑んでいるのだろうか。



あふれんばかりの在庫、
在庫・・・在庫の山

今、多品種少量生産は当たり前で、家具業界も

同じ状況にある。1つの椅子を例にとってみても、張り地や木材の素材、色など、消費者の好みに合わせてカスタマイズされる。さらに、商品のライフサイクルの短命化や販売チャネルの多様化など、時代のうねりをキャッチした製品づくりが求められている。同社専務取締役の永野貴啓氏は同社に入社した1998年当時を次のように振り返る。

「時代が多品種少量生産へと変わるなかで、市場の変化についていけず、在庫は山のように溜まっていました。当時は、多くつくれば利益が上がると考えていたので、それらがムダであり、利益を落としているとは思っていなかった。しかし、大きな勘違いでした。在庫生産は間違っている、なんとか止めて、受注生産に変えないと、と焦りが募りました」。

少品種大量生産から多品種少量生産時代へと移行する製造業の転換点は、在庫生産から受注生産へと、同社の生産スタイルを変えるターニングポイントでもあったのである。

企 業 概 要

会社名：ナガノインテリア㈱
所在地：〒838 0068
福岡県朝倉市甘木2153
設立：1946年
資本金：5億円
従業員：100名
事業内容：家具を主体とするインテリア商品の開発・製造・仕入れおよび販売



代表取締役社長 永野 勤十氏